

JAくまの取り組み

農業所得アップをめざして



米は販売先の開拓により、6,324tのうち5,484tを直販し(87%)、出荷に係る経費を削減しています。お茶は農家の安定収入を図るため、一部ドリンクメーカーとの契約販売に取り組んでいます。



選果施設を更新し、品質の均一化・向上により有利販売に取り組んでいます。また、収穫後の選果選別及びパック詰め作業を軽減し作物管理作業の充実を図るため、パックセンターを稼働し品質向上に努めています。



肥料価格低減の為に、主要7品目に限定したJAくまPB(プライベート)肥料の普及拡大に取り組み、H29年度では総額で12百万円程の農家の負担軽減、また、段ボール価格を約10%、ラップフィルム価格を約20%引き下げを実現しました。

住み良い地域社会をめざして



H28年度より、担い手専任渉外課(TAC)を設立。担い手の皆さまを中心に日々巡回し、情報提供やJAに対する意見・要望等伺いながら、組合員とJAとのパイプ役として活動しています。また、青色申告簿記代行記帳を行い税務申告負担軽減のお手伝いを行っています。



地域農地の維持管理及び農業者の高齢化や後継者不足に対応するため、集落組織の法人化を支援しています。



地域住民との触れ合いの場づくりとして各地区での祭りやスポーツ大会を開催。子育て支援、高齢者生活支援、環境保全活動などを通じ、地域の活性化をはかり、安心して暮らせる地域社会の実現に取り組んでいます。